

トピックス

阪神・淡路大震災から 20 年 - 防災展示会を実施

富士通テン株式会社



震災・発生当時の映像を見る従業員

1月19～21日、当社は今後予想される南海トラフ地震への備えと、職場や家庭での防災取り組みを啓発するために、従業員向けの防災展示会を開催しました。本展示会は、2011年と2014年に続き3回目の開催となります。

今年には阪神・淡路大震災から20年目の節目とあり、昨年の1,311人を大幅に上回る2,033人が来場しました。会場内には、地元テレビ局が撮影した阪神・淡路大震災発生当時の映像や、社内外の被害状況・お客様からの支援状況に関する写真、南海トラフ地震発生を想定した災害対応やハザードマップなどの展示を行いました。



ハザードマップ展示の様子

来場者からは、

「震災の記憶が薄れる中、当時の状況を思い出した。いつ災害はやって来るかわからないということを再認識し、あらためて備えが必要であることを痛感した。」

「震災当時は小学生だったため、被害についてはあまり理解できていなかった。今回の展示を通じて当時のことを大変良く理解できた。」

などのコメントが寄せられました。

阪神・淡路大震災では、その震源から約 15 k m の富士通テン本社（神戸市兵庫区）は、全生産ラインが崩壊するなど甚大な被害を受けましたが、多方面の方々からのご支援により復旧・復興することができました。現在、震災後入社の従業員が 6 割を超える中、こうした震災経験を風化させないよう、従業員の防災意識向上につながる取り組みをこれからも実施してまいります。